

# 安全データシート

## ジエタノールニトロソアミン

改訂日: 2024-01-24 版番号: 1

### 1. 化学品及び会社情報

#### 製品識別子

製品名 : ジエタノールニトロソアミン  
CB番号 : CB8401443  
CAS : 1116-54-7

#### 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途 : 実験用発がん剤  
推奨されない用途 : なし

#### 会社ID

会社名 : Chemicalbook  
住所 : 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟  
電話 : 400-158-6606

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

##### 分類実施日(物化危険性及び健康有害性)

GHS改訂4版を使用

H31.3.15、政府向けGHS分類ガイダンス (H25年度改訂版 (ver1.1):JIS Z7252:2014準拠) を使用

##### 物理化学的危険性

引火性液体 区分2

##### 健康に対する有害性

発がん性 区分2

##### 分類実施日(環境有害性)

環境に対する有害性はH18年度、GHS分類マニュアル(H18.2.10版)を使用

##### 環境に対する有害性

-

#### ラベル要素

##### 絵表示又はシンボル

GHS02	GHS07	GHS08

## 注意喚起語

警告

## 危険有害性情報

発がんのおそれの疑い

## 注意書き

### [安全対策]

使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋、保護衣、保護面を着用すること。

### [応急措置]

暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。

### [保管]

施錠して保管すること。

### [廃棄]

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

---

## 3. 組成及び成分情報

化学物質 / 混合物の区別:	: 化学物質
化学名又は一般名:	: N-ニトロソジエタノールアミン
濃度又は濃度範囲:	: >97.0%(GC)
CAS RN:	: 1116-54-7
別名	: Diethanolnitrosamine , NDELA
化学式:	: C4H10N2O3
官報公示整理番号 化審法:	: 該当なし

---

## 4. 応急措置

### 吸入した場合:

手当てを受けること。

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診断、

### 皮膚に付着した場合:

洗うこと。医師の診断、手当てを受けること。

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。多量の水と石鹸で

### 目に入った場合:

て洗うこと。医師の診断、手当てを受けること。

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外し

### 飲み込んだ場合:

医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。

### 応急措置をする者の保護:

救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

---

## 5. 火災時の措置

### 適切な消火剤:

粉末, 泡, 水噴霧, 二酸化炭素

### 火災時の特定危険有害性:

火災の場合に爆発する危険性あり。爆発の危険性に応じ、離れた距離から消火すること。燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生する恐れがあるので注意する。

### 特有の消火方法:

消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。関係者以外は安全な場所に退去させる。周辺火災時、容器に水を噴霧して冷却する。安全に対処できるならば着火源を除去すること。

### 消火を行う者の保護:

消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

る。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止す

十分に換気を行う。

漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。

個人用保護具を着用する。

### 環境に対する注意事項:

製品が排水路に排出されないよう注意する。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材:

付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

ウエス、乾燥砂、土、おがくずなどに吸収させて回収する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策:

取扱いは換気のよい場所で行う。適切な保護具を着用する。漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。熱、火

花、裸火、高温体などの着火源から遠ざけること。禁煙。静電気対策を行う。設備などは防爆型を用いる。衝撃、摩擦を避けること。取扱い後は手や顔などをよく洗う。

**注意事項:**

できれば、密閉系で取扱う。蒸気やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いる。

**安全取扱い注意事項:**

あらゆる接触を避ける。

**保管**

**適切な保管条件:**

容器を密栓して冷蔵庫に保管する。不活性ガスを充填する。施錠して保管する。転倒や落下して、容器に不慮の衝撃が加わらないよう配慮する。酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

**避けるべき保管条件:**

熱, 空気

**安全な容器包装材料:**

法令の定めるところに従う。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

**設備対策:**

密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

**管理濃度:**

設定されていない。

**保護具**

**呼吸用保護具:**

防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。

**手の保護具:**

不浸透性の手袋。

**眼、顔面の保護具:**

保護眼鏡(ゴーグル型)。状況に応じ保護面。

**皮膚及び身体の保護具:**

不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

**Information on basic physicochemical properties**

形状	淡黄色の油状液体 1)
色	情報なし
臭い	データなし
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	情報なし

データなし

データなし

データなし

log Pow = -1.28(推定値) 3)

水: ≧ 10g/100mL (20.5℃) 4)、有機溶媒: データなし

データなし

4.62(計算値)

5E-04mmHg(推定値)(20℃) 3)

データなし

データなし

データなし

データなし

125℃(0.01) 2)

データなし

**融点・凝固点**

データなし

**沸点、初留点及び沸騰範囲**

125℃(0.01) 2)

**引火点**

データなし

**蒸発速度(酢酸ブチル=1)**

データなし

**燃焼性(固体、気体)**

データなし

**燃焼又は爆発範囲**

データなし

**蒸気圧**

5E-04mmHg(推定値)(20℃) 3)

**蒸気密度**

4.62(計算値)

**比重(相対密度)**

データなし

**溶解度**

水: ≧ 10g/100mL (20.5℃) 4)、有機溶媒: データなし

**n-オクタノール/水分配係数**

log Pow = -1.28(推定値) 3)

#### 自然発火温度

データなし

#### 分解温度

データなし

#### 粘度(粘性率)

データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

#### 反応性:

情報なし

#### 化学的安定性:

適切な条件下においては安定。

#### 危険有害反応可能性:

熱、衝撃、摩擦などにより、爆発的に分解することがある。

#### 避けるべき条件:

熱, 衝撃, 摩擦

#### 混触危険物質:

酸化剤

#### 危険有害な分解生成物:

二酸化炭素, 一酸化炭素, 窒素酸化物

---

## 11. 有害性情報

#### 急性毒性

##### 経口

ラットに 7.5 g/kg bwを単回経口投与しても死亡はみられなかった(IARC 17, 1978)との記載から、区分外と分類した。

##### 経皮

データなし。

##### 吸入:ガス

固体である。

##### 吸入:蒸気

データなし。

##### 吸入:粉じん及びミスト

データなし。

#### 皮膚腐食性及び皮膚刺激性

データなし。

#### 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

データなし。

#### 呼吸器感作性

データなし。

#### 皮膚感作性

データなし。

#### 生殖細胞変異原性

in vitro変異原性試験の復帰突然変異試験で陽性(IARC 77, 2000)、in vivoでのDNA損傷がラット(IARC 77, 2000)あるいはマウス(RTECS, Access on Oct. 2007)でみられているが、他のin vivo知見がなくデータ不足で分類できない。

#### 発がん性

IARC(1987)がグループ2B、日本産業衛生学会(2007)が2B、U.S. EPA(1993)がB2、U.S. NTP(2005)がRに分類していることから、区分2とした。

#### 生殖毒性

データなし。

#### 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データなし。

#### 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

データなし。

#### 吸引性呼吸器有害性

データなし。

---

## 12. 環境影響情報

#### 生態毒性:

##### 魚類:

情報なし

##### 甲殻類:

情報なし

##### 藻類:

情報なし

#### 残留性・分解性:

情報なし

**生体蓄積性(BCF):**

情報なし

**土壤中の移動性**

**オクターノール水分配係数:**

情報なし

**土壤吸着係数(Koc):**

情報なし

**ハザード定数(PaM 3/mol):**

情報なし

**オゾン層への有害性:**

情報なし

---

## 13. 廃棄上の注意

処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。

処理に際しては、十分な知識を有した専門家に相談した後、危険性に充分配慮する。

一度に、大量に焼却すると爆発の危険性がある。

却炉で少量ずつ充分注意しながら焼却する。

焼却処理する場合には、可燃性溶剤に溶解または混合した後、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼

却炉に焼却する。

適切な保護具を着用する。

---

## 14. 輸送上の注意

**国連番号:**

該当なし。

**国連分類:**

国連の分類基準に該当せず。

**輸送の特定の安全対策及び条件:**

積み込み、荷崩れの防止を確実に、法令の定めるところに従う。

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように

---

## 15. 適用法令

**消防法**



## 16. その他の情報

### 略語と頭字語

TWA: 時間加重平均

STEL: 短期暴露限度

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

LD50: 致死量 50%

LC50: 致死濃度 50%

IMDG: 国際海上危険物

IATA: 国際航空運送協会

EC50: 有効濃度 50%

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

### 参考文献

- 【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>
- 【2】化学物質審査規制法（化審法） <https://www.env.go.jp>
- 【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） <https://www.chemicoco.env.go.jp>
- 【4】NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP） <https://www.nite.go.jp/>
- 【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>
- 【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
- 【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
- 【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト <http://www.echemportal.org/echemportal/index?>  
pageID=0&request\_locale=en
- 【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

#### 免責事項:

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。